

2021 年度特定非営利活動に関わる事業報告書

事業の成果

(1) 定例勉強会 各教室参加状況 (スタッフ数は今年度教室参加者のみ)

		開催回数	スタッフ	生徒	学生 スタッフ	対象生徒
定例勉強会	火曜教室	34 回	8 名	5 名	1 名	小学生
	土曜教室	33 回	7 名	7 名		小学生
	木曜教室	32 回	4 名	8 名	2 名	中学生
	文化ホール	37 回	16 名	22 名	2 名	中学生・高校生・既卒生
	新松戸教室	31 回	9 名	11 名		小学生・中学生・高校生
	オンライン	54 回	2 名	5 名		対面授業と重複

参加生徒内訳 (総計 53 名)

小学生人数	小 1-2 名	小 2-1 名	小 3-1 名	小 4-2 名	小 5-3 名	小 6-6 名
中学生～人数	中 1-9 名	中 2-8 名	中 3-13 名	高 1-6 名	高 2-1 名	既卒-1 名

(2) 集中勉強会

		開催回数	スタッフ	生徒	学生スタッフ	期間
夏休み教室	小学生	5 回	12 名	9	2 名	7/24～8/3
	中学生	5 回	21 名	23 名	9 名	7/24～7/29 8/24～8/25
入試対策教室	中学生 既卒生	24 回	22 名	9 名	7 名	2021/10/3 ～2022/3/13
		国語 15 回		英語/数学 9 回		

〈本年度高校進学先〉

松戸市立松戸高校・柏市立柏高校・千葉県立松戸国際高校・千葉県立流山北高校
 千葉県立沼南高柳高校・私立関東国際高校・私立日本体育大学柏高校
 私立渋谷教育学園幕張高校・多文化フリースクールちば

(3) スタッフ会議・勉強会

小学生スタッフ会議	開催3回・参加スタッフ9名
小学生スタッフで話し合い全員に購入したテキスト『こどものほんご』（スリーエーネットワーク）の講習会を開催した。講師には公立学校や日本語指導に豊富な経験を持ち、新松戸教室で実際にこの教材で生徒指導されている方にきていただいた。具体的な活用方法やそれに対する生徒の反応・効果など実践に基づいた話しを聞くことができ、これからの授業に生かせる講習会となった。	
中学生スタッフ勉強会	開催3回
第1回 7月17日(土)「勉強会でのオンラインの活用（意見交換）」（11名参加） 第2回 9月18日(土)「試験対策室、進路ガイダンス」（24名、うち5名は外部） 第3回 3月 各教室で「年度の振り返り」文化ホール教室は、3月5日に年度の振り返りと指導方法などについて意見交換をした。 *文化ホール教室以外の参加が少ないこと、参加者からの意見が少ないことなど、活発な活動ができなかった。	

(4) 広報活動

会報『かけはし』	25号‘21年7/8発行 ・26号‘21年12/10発行 （27号‘22年4/9発行）
ホームページ・FB	各行事、教室状況、会報、順次更新

(5) 交流事業

	開催日	場所	スタッフ参加	他参加
松戸市国際文化祭	2021/10/24	市民会館	5名	ブースを訪れた人100名～
先輩と話そう会	2021/10/30	勤労会館	11名	卒業生6名・在籍生7名
みらいフェスタ	2022/3/26	松戸中央公園	6名	ブースを訪れた人70名～

*〈おやこ会〉〈バスハイク〉〈スタッフ交流会〉はコロナ感染対策として今年度も中止

(6) 外部講習会等への参加

月日	課題	参加
【松戸市民向けSDGs普及啓発事業】		主催：まつど地域活躍塾つながりの会
① ‘21年5月9日	SDGs啓発第1回ミーティング	海老名
② ‘21年7月17日	SDGsネットワーク形成第2回ミーティング	海老名
③ ‘21年8月3日	木更津市SDGsスタディツアー（オンライン）	海老名
④ ‘21年8月28日	SDGs教材骨子づくり第1回意見交換会	海老名
⑤ ‘21年9月27日	SDGs普及啓発に関して松戸市との情報交換会（オンライン）	海老名
⑥ ‘21年10月24日	松戸市民向けSDGs基礎講座	海老名・中尾 吉道
⑦ ‘21年12月5日	SDGs普及啓発事業ネットワーク形成第3回ミーティング	海老名
⑧ ‘22年2月23日	SDGsフォーラム	海老名・吉道
【令和3年度地域教育力を高めるボランティアセミナー】		
‘21年12月13・14日	主催：国立教育政策研究所	参加：海老名
【日本語学習支援者フォローアップ講座】		
‘22年1月26日	主催：千葉県国際交流センター	参加：海老名・三石・福島・吉道

(7) 2022年度松戸市協働事業

【事業名：日本語を母国語としない子どものための学習支援事業】

【協働事業担当課：文化観光国際課（4月より国際推進課に組織変更）】

令和4年度松戸市協働事業については、松戸市文化観光国際課から当会と事業をしたいとの打診があり、令和3年5月10日以降、当会から海老名、中尾、鶴田、田原の4名が準備作業に当たり同課との打ち合わせを重ね、7月末に提案書を9月末に事業企画書を提出した。事業名は「日本語を母国語としない子どものための学習支援事業」で、事業内容は、学習時間の増加など既存事業の強化及び新規事業としてスタッフ養成及び多文化共生講座の実施の二つの柱からなり、事業費総額は1,012,411円（市から協働事業負担金500,000）とした。その後、11月14日協働事業プレゼンテーションを経て、11月18日付けの松戸市協働事業審査結果通知により、採択された。

これを受け12月29日全会員に向け、松戸市協働事業についての説明及び事業参加者を募る文書を送付し、令和4年に入り1月29日協働事業推進体制を発足させ、4月の事業開始に向け事業内容の具体化など準備作業を進めた。3月末現在、協働事業参加者は既存事業強化チーム10名、新規事業チーム7名となっている。